

## 「東北大学×ウズベキスタン国立大学国際学術交流会」および「中央アジアから広げる学際研究」構想検討会が開催されました（2026/4/13・6/1）

テーマ：国際交流、中央アジア研究、学際研究、災害レジリエンス

会場：東北大学 川内キャンパス

2026年4月13日、東北大学大学院教育学研究科主催により、「東北大学×ウズベキスタン国立大学国際学術交流会」が開催されました。本交流会は、東北大学とウズベキスタン国立大学との大学間協定（MOU）締結にあわせて実施されたものであり、両大学の副学長をはじめ、教員・学生による研究発表および意見交換が行われました。交流会では、教育、文化、災害、防災、環境、地域社会など多岐にわたるテーマについて研究成果が紹介されました。東北大学からは、災害科学や地域レジリエンスに関する研究を含む発表が行われ、中央アジアと日本が共有する課題や将来的な研究協力の可能性について活発な議論が交わされました。

本交流会では、災害科学国際研究所を代表して、ボレー・セバスチャン教授（インクルーシブ防災学分野）が、当研究所の設立経緯、理念、および災害科学分野におけるこれまでの取り組みと今後の展望について紹介しました。さらに、アラル海流域を対象として、地域住民が長期的な環境変化や緩慢進行型災害をどのように記憶し、解釈し、適応してきたのかを明らかにすることを目的とし、環境記憶、災害の記憶、社会的脆弱性、集合的記憶といったテーマを通じて、地域社会が有する知識や経験を災害レジリエンスと持続可能な地域づくりに活かすことを目指していることを発表しました。

続いて2026年6月1日には、東北大学大学院教育学研究科主催による「中央アジアから広げる学際研究」構想検討会が開催されました。本検討会では、4月の国際学術交流会で共有された問題意識を踏まえ、文学、教育学、農学、天文学、気候変動研究、人口移動研究、災害科学など多様な分野の研究者が参加し、中央アジアをフィールドとした国際共同研究の展望について議論を行いました。

当研究所からは原裕太助教（2030国際防災アジェンダ推進オフィス）およびボレー教授が参加しました。原助教は「Slow-onset型災害にレジリエントな『地域の知』に関する研究」と題して発表を行い、アラル海地域をはじめとする中央アジアの環境変化や緩慢進行型災害への適応において、地域住民が有する知識や経験の重要性について報告しました。ボレー教授は、災害の記憶、文化遺産、包摂的防災の観点から中央アジアとの研究連携の可能性について議論を行いました。

両イベントを通じて、中央アジア地域を対象とした学際的かつ国際的な研究ネットワークの形成が進展するとともに、今後予定されているウズベキスタンでの国際会議や共同研究プロジェクトに向けた基盤づくりが進められました。当研究所にとっても、環境変化、文化遺産、防災、地域レジリエンスを横断する新たな国際共同研究の可能性を広げる有意義な機会となりました。

文責：ボレー・セバスチャン（インクルーシブ防災学分野）  
原 裕太（2030国際防災アジェンダ推進オフィス）

（次頁へつづく）



東北大学とウズベキスタン国立大学の集合写真

**東北大学×ウズベキスタン国立大学  
 国際学術交流会**

ウズベキスタン国立大学との連携とその将来展望  
 —中央アジアと日本の学術交流拡大を目指して—

- ◆日時：2026年4月13日（月）13:00-19:00
- ◆会場：東北大学大学院教育学研究科 大会議室（11期）  
 （川内南キャンパス C14 文科系総合研究棟）
- ◆対面開催・英語使用 | 一般公開・参加無料 | 要事前申込
- ◆参加申込 URL： <https://forms.gle/eyTlWw5WXXVGGjz8>

12:30 開場 13:00 開会（組合員会 志室 ありむとむて）  
 開会挨拶 山口 篤弘（東北大学 副学長）(予定)  
 主催挨拶 Tokimasa Shohei-Ikenouchi  
 (Vice-rector for academic affairs, National University of Uzbekistan)  
 基調講演 小嶋 秀樹（東北大学 大学院教育学研究科長 教授）

13:40-15:50 セッション1：中央アジアとの国際学術連携の現状と展望（各20分）  
 (Chair of Foreign Philosophy Faculty, National University of Uzbekistan)  
 藤山 麻由子（東北大学 研究推進・支援機構 リサーチ・マネジメントセンター 特任教授）  
 野村-ベシムジン 志乃子（東北大学 公共科学国際研究所 准教授）  
 Ertanov Davron Rakhmatovich  
 (Senior Lecturer of Department of Foreign language and literature, National University of Uzbekistan)  
 志室 ありむとむて（東北大学 大学院教育学研究科 特任教授）

16:00-17:30 セッション2：研究実践に基づく学術交流と対話（各15分）  
 ※両大学の大学院生・学生も、それぞれの研究テーマについて発表します

主催 東北大学大学院教育学研究科  
 共催 Foreign Philosophy Department, National University of Uzbekistan  
 Foreign Philosophy Faculty, National University of Uzbekistan  
 東北大学学際科学フロンティア研究用 東北大学公共科学国際研究所  
 協賛 東北大学リサーチ・マネジメントセンター



ウズベキスタンの郷土料理



発表するボレー教授